2013年1月11日

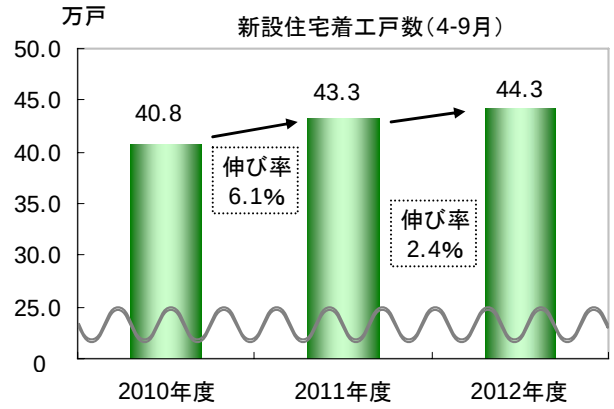
2013年5月期第2四半期決算補足説明資料

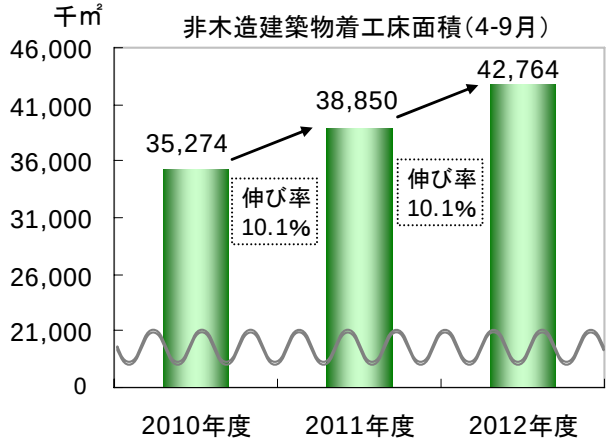
三協立山株式会社

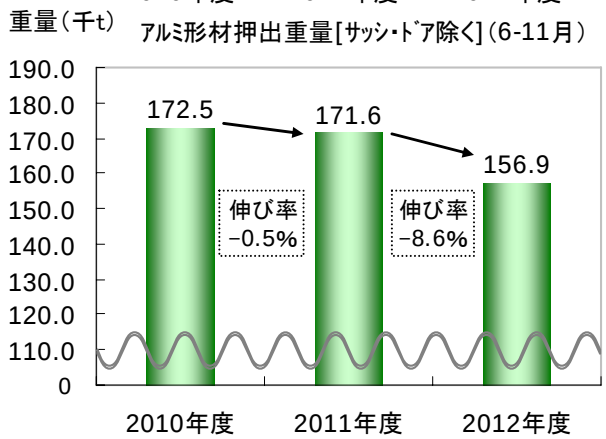
1-1. 2013年5月期2Qにおける事業環境

◇市場環境

市場環境	2010年度	2011年度	2012年度
新設住宅着工戸数(4月-9月)	40.8万戸	43.3万戸 （前年比6.1%増）	44.3万戸 （前年比2.4%増）
非木造建築物着工床面積 (4月-9月)	35,274千㎡	38,850千㎡ （前年比10.1%増）	42,764千㎡ （前年比10.1%増）
アルミ形材押出重量 [ｻｯｼ･ﾄﾞｱ除く] (6月-11月)	173千ｔ	172千ｔ （前年比0.5%減）	157千ｔ （前年比8.6%減）
アルミ地金[日経平均] (6月-11月)	225円／kg	224円／kg （前年比0.6%減）	201円／kg （前年比10.1%減）







1） 建材 :新設住宅着工戸数は、住宅取得支援策等もあり堅調に推移した。非木造建築物着工床面積は、復興需要に支えられた堅調な建設需要があり好調に推移した。

マテリアル :電機機器や輸送機器分野の需要が若干落ち込み、アルミ形材市場も同様に落ち込んだ。

商業施設 :コンビニエンスストアやドラッグストアの出店が拡大したものの小売業における震災復旧需要は一段落した。

2） アルミ地金 :中国をはじめとする海外経済の減速の影響により下落傾向にあったが、主要国が金融緩和政策を実施する中、上昇傾向にある。

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

1-2. 2013年5月期2Q　経営成績

(単位：億円)

	2012年5月期 2Q実績	2013年5月期 2Q期初計画 (2012/7/12発表)	2013年5月期 2Q実績	前年同期比 増減	前年同期比 %	期初計画比 増減	期初計画比 %
売上高	1,351	1,380	1,357	5	0.4%	△ 22	-1.6%
売上総利益	341	-	361	19	5.8%	-	-
売上総利益率	25.3%	-	26.6%	-	+1.3p	-	-
営業利益	52	42	62	10	18.4%	20	49.1%
営業利益率	3.9%	3.0%	4.6%	-	+0.7p	-	+1.6p
経常利益	45	35	59	13	29.3%	24	68.7%
四半期純利益	31	30	51	19	61.6%	21	70.7%

■売上高

マテリアル事業・商業施設事業で減収となったが、建材事業が増収となり、前年同期比0.4%増となった。

・建材事業　　：震災の復興需要や改装・リフォーム需要の取り込みに注力し、前年同期比2.8%増となった。

・マテリアル事業　：売上に連動するアルミ地金市況の下落などにより、前年同期比8.2%減となった。

・商業施設事業　　：前年同期にあった節電対応需要が収束したことにより、前年同期比5.1%減となった。

■営業利益

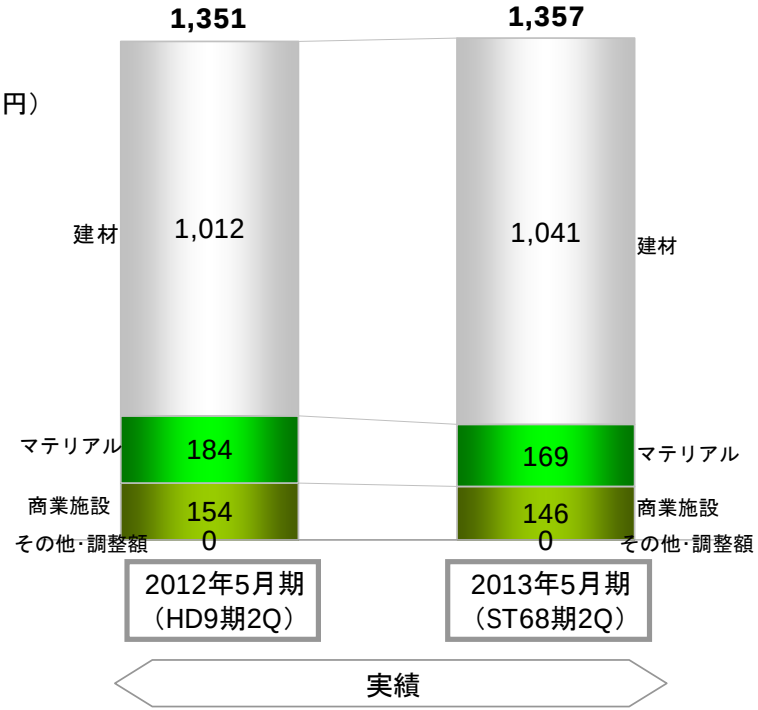
前年同期にあった節電需要が収束したことにより商業施設事業で減益となったものの、コスト・受注改善による収益改善効果と、資材、地金価格が想定よりも低く推移したことから、前年同期比18.4%増となった。

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

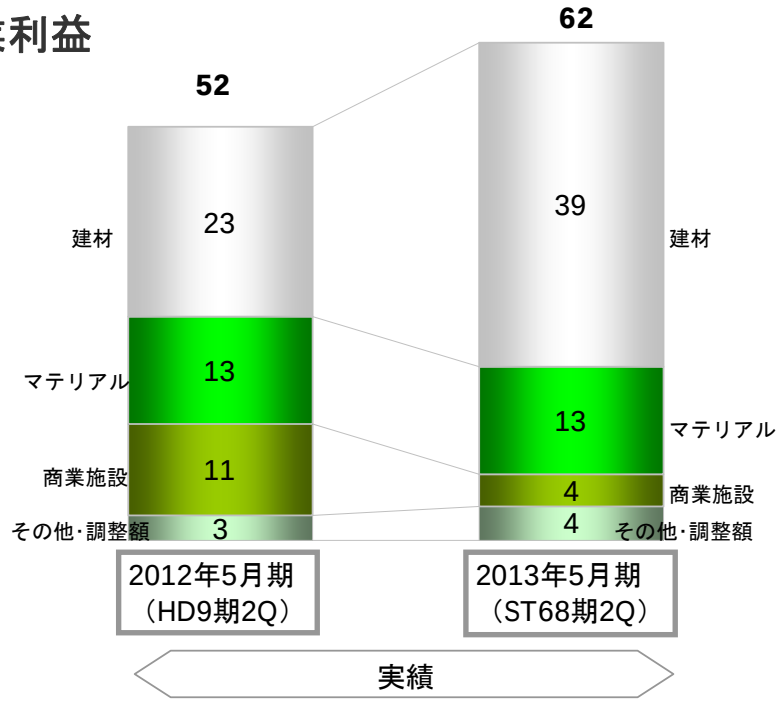
1-3. 2013年5月期2Q　（前期比）売上、営業利益

■売上高

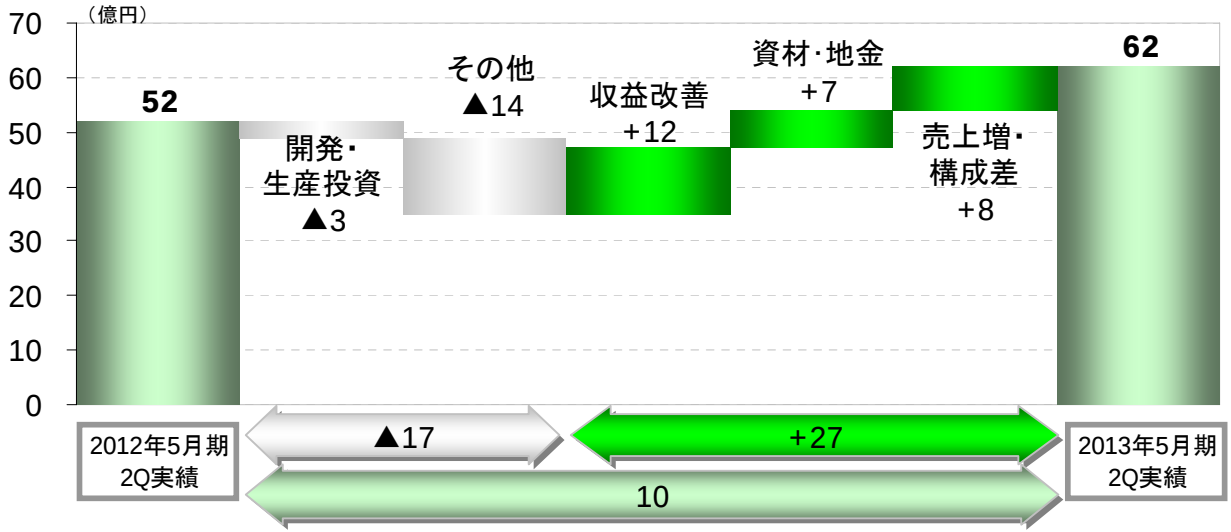
（単位：億円）



■営業利益



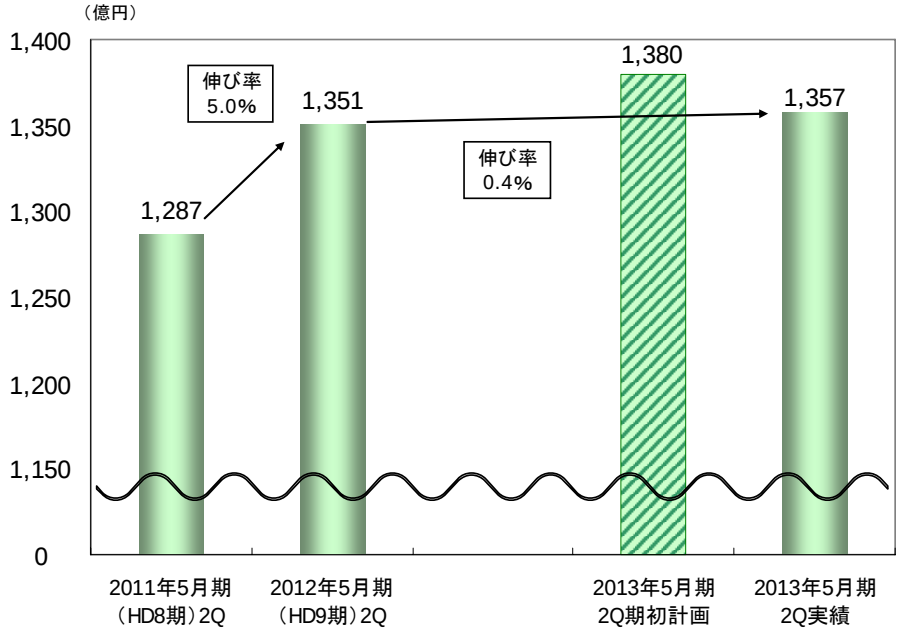
■営業利益　変動内訳



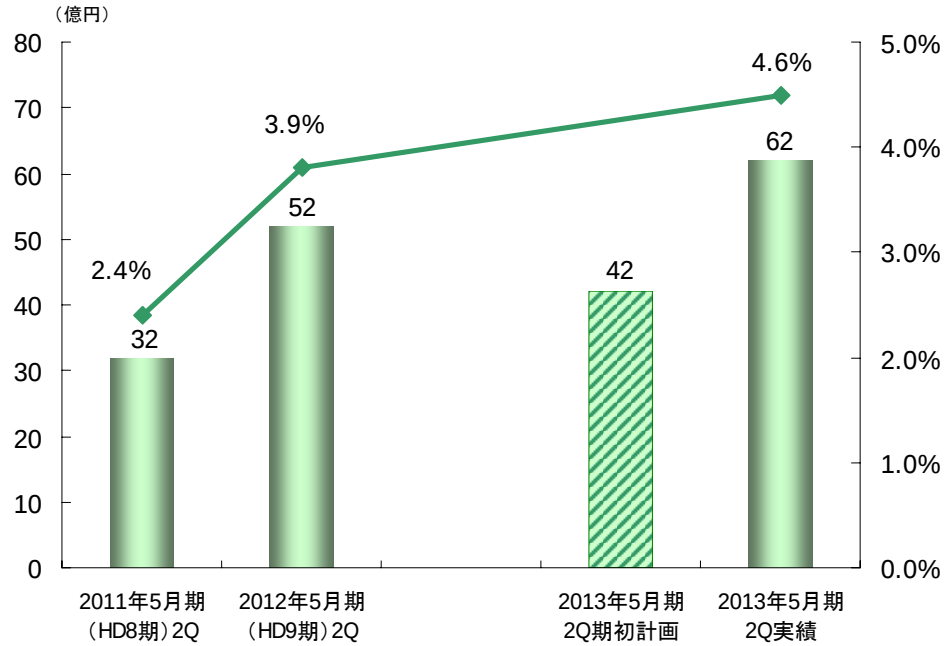
Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

1-4. 2013年5月期2Q　(計画比)売上、営業利益

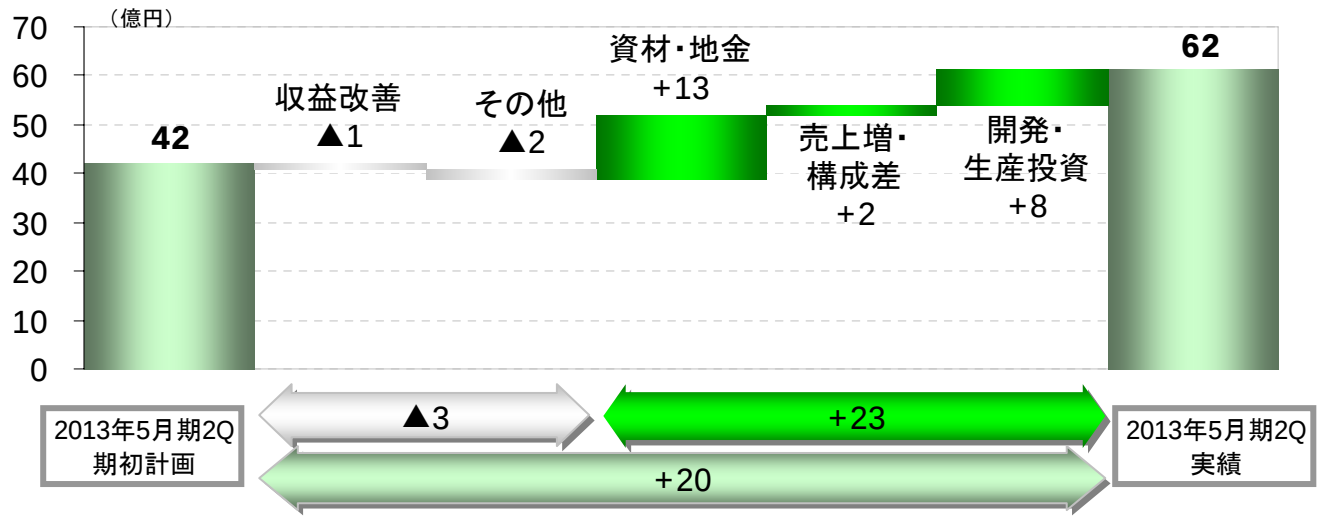
■売上高



■営業利益（率）



■営業利益　変動内訳



Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

1-5. 2013年5月期 各セグメントの取り組み

■成長領域の事業拡大に向けた施策・投資を具現化する。

■基盤事業の強化、合理化を更に推し進め、外部環境変化に強い収益体制を構築する。

セグメント	項目	概要
建材事業	既存事業の基盤強化	■ 代理店の支援強化・新規開拓、差別化商品の提案折込強化。 ■ 生産効率化に向けた生産ラインの集約、コストダウンを狙いとした海外部品調達拡大。
	改装・リフォーム分野の拡大	■ 自然風・太陽光利用商品、断熱・通風機能を高めたリフォーム商品を拡充。 ■ パナソニック㈱エコソリューションズ社との共同開発による「省エネルギー型建材」を拡充。 ■ 環境改修・リフォームの総合提案、リフォームセミナー・施工研修会による「一新助家」の強化。
	海外展開	■ 台湾市場での「三協アルミ」ブランドの浸透と現地供給体制を構築、受注拡大。
マテリアル事業	技術による市場開拓	■ 大型・新合金形材（ソーラーパネル用架台）、精密加工品の提案活動を積極化し顧客開拓。 ■ 放熱・軽量化技術によりLED照明部材やEVインフラ部材など環境分野を開拓・拡販。
商業施設事業	販売領域の拡大 環境配慮型商品	■ コンビニ・ドラッグストアなど好調業態での販売拡大、改装需要の取り込みとトータル受注の推進。 ■ 原価低減を狙いとした海外調達の推進と物流改善。 ■ LED照明を用いた省エネタイプの什器・看板のラインナップ充実・拡販。
	海外展開	■ 海外への什器輸出を開始、米国向け看板輸出拡大に向けた販売・生産体制の構築。 ■ 日系企業のアジア進出に歩調を合わせた販売拡大。

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

2-3. 三協立山と三協･立山ホールディングスの合併

各事業が持つそれぞれの優位性や戦略の独自性を維持しつつも、グループ全体の力を結集し、「長期VISION-2020］の達成を目指す。

《2012年12月1日》三協立山と三協･立山ホールディングスの合併

合併

三協･立山ホールディングス株式会社

存続会社

三協立山株式会社

三協アルミ ＜建材事業＞

三協マテリアル ＜マテリアル事業＞

タテヤマアドバンス ＜商業施設事業＞

三協立山株式会社 （三協立山として引き続き上場）

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

東京駅丸の内駅舎の全窓に当社サッシ全面採用

――「東京駅専用ビル用サッシ」が歴史的復原工事の顔に





創建当時の「木の風合い」に近づける表面処理：フッ素樹脂塗装

工事の基本方針に沿うよう復原作業を実施

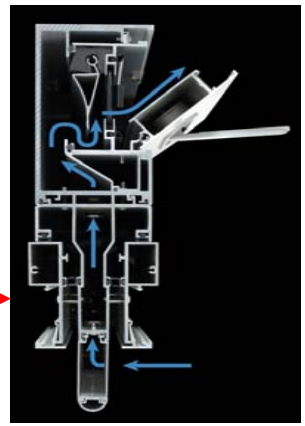
Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

三協アルミ　グッドデザイン賞ダブル受賞

自然換気システム「ARM-S@NAV」

――スリム・機能美を踏襲したデザイン性と
風を一定量で取り入れる機能性が高評価



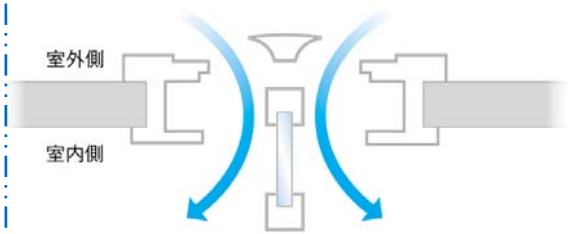


断面図

採風玄関ドア「ラフォース採風タイプ」

――新機構のウィングが
防犯性の確保や省エネに貢献







「ARM-S@NAV」は

「グッドデザイン金賞」(経済産業大臣賞)を受賞

グッドデザイン金賞（14件）は、事前に選出された「グッドデザインベスト100」の中から、特別審査で選ばれたもの。

（※2012年度は審査対象3,132件のうち、1,108件がグッドデザイン賞を受賞）

GOOD DESIGN

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved



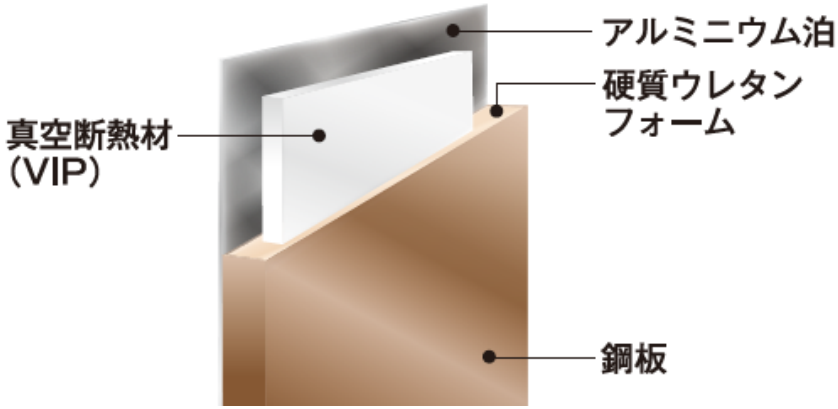
2012年11月6日

省エネルギー型建材の共同開発商品を発表

「ナノイー」搭載キャブコン
アレル物質を抑制（ナノイー技術等を応用）
するとともに、省エネ効果の高い
「通風・換気窓システム」の開発



内貼断熱パネル・窓システム
短工期、省施工な部分断熱改修可能な
「内貼断熱パネル・窓システム」の開発



Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

「太陽光発電推進グループ」を新設

――需要が増加する産業用太陽光発電への対応強化

太陽光発電架台や周辺設備の販売により一層注力する



本社敷地内に導入した「太陽光発電システム」

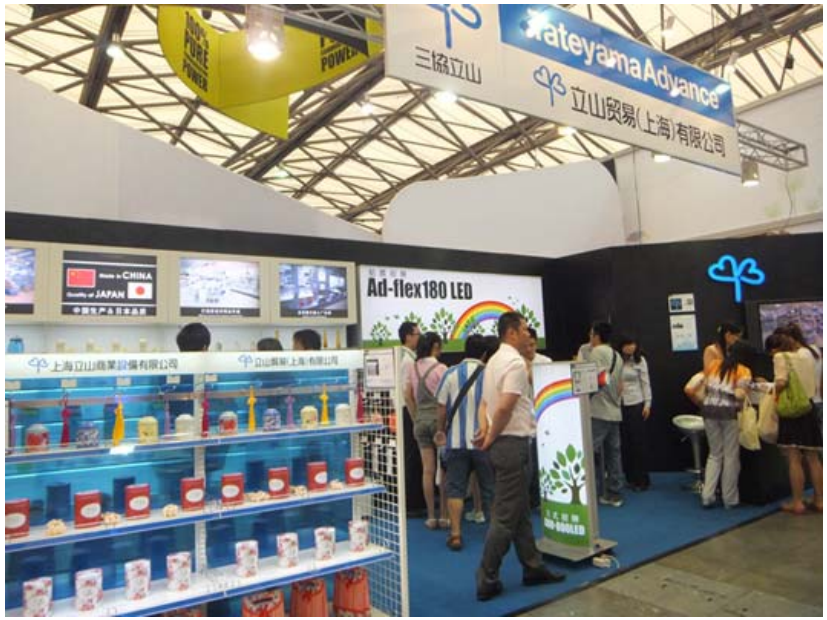
架台は、三協マテリアルが保有する高強度アルミニウム合金を採用したアルミ製

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved

タテヤマアドバンス　中国・上海の展示会に出展

「2012上海国際展示・POP・商用施設器材展示会」に出展

――海外への販売拡大を目指す



主力商品である店舗用什器やLEDを採用した看板などを中心に展示

当社ブースへは、4日間で約1,500人が来場し、活況を呈した

【本資料に関する注意事項】
本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。

Copyright (C) 2013 Sankyo-Tateyama ,Inc. All Rights Reserved